

# がんばりすと

5月17日、国立看護大学校（梅園一丁目）で「第32回清瀬市小中学生陸上記録会」と「第11回ファミリー・個人競技会」が開催されました。

当日は天気にも恵まれ陸上記録会では369人が、ファミリー・個人競技会では93人が自分の記録に挑戦しました。



パン食い競争で奮闘する参加者



全力で走り抜けた 1500m走

この日更新された市内最高記録と記録更新者の方は次のとおりです。（敬称略）

- 小・中学生50m走 小5男子 合田優希（十小） 7秒56
- 小・中学生400mリレー 小5男子 合田優希・村田智哉・安藤匠（十小）、内田怜弥（三小） 1分02秒56、大熊峻冬・澤口晃喜・石井一匠・渡邊彪牙（八小） 1分02秒27

## 太田しげ子氏が「平成27年度消費者支援功労者表彰（ベスト消費者サポーター章）」を受章



太田氏（右）と渋谷市長

消費生活センター主任消費生活相談員の太田しげ子氏が、「平成27年度消費者支援功労者表彰（ベスト消費者サポーター章）」を受章し、渋谷市長から表彰状とメダルを伝達されました。

この章は、消費者利益の擁護・増進を図るため、消費者支援活動に顕著な功績があった方を消費者庁が表彰する制度です。

太田さんは相談員として、長期にわたり消費者トラブルからの被害者救済や安全確保に努める他、出前講座の講師を務めるなど、継続的な消費者啓発・教育活動を行い、その功績が評価されました。

## 3本の木とともに

6月1日、奇跡を生きた人の告別式に参列してきました。約30年前に人工弁を心臓に付ける大手術をされ、お医者さんからも「もつて後10年、20年生きたらたら奇跡です」と言われたそうです。その奇跡を通り越して30年後の先月末に80歳で旅立たれました。

続けて6月5日にも実に感動的な、奇跡の旅立ちの話を聞きました。胃ろうで寝たきりの70代の方が、3年後に天国ではなく何と、海外旅行に旅立って行ったのです。清瀬市健康大学の講師にお呼びした、大分県佐伯市の歯科医師河原先生が紹介した事例です。栄養は胃に直接だが、薬は口から飲んでいることから、「噛み合わせの良い」入れ歯を作って、しっかりと

りと噛むことの練習から始めて3年後に海外旅行です。しっかりと噛むことにより唾液がたくさん出て消化吸収を助け、歯根にある神経が脳の各分野を刺激して心と体をよみがえらせたのです。他にも脳梗塞の後遺症で車いす生活だった人が歩くようになったなどの事例をたくさん紹介してくれました。まさに、「カム」ことは「カミワザ（神業）」です。もうひとつ、奇跡の「はちあわせ」です。まず、気象衛星センターに天気の情報を送ってくる天空のひまわり7号が、7月から8号に現役を譲り予備役となります。時を合わせたかのように今年7万人の観光客を目指す「プラスワンの10万本のひまわりフェスティバル」は本年で8回目です。8号と8回目、奇跡的な合致です。

公益財団法人結核予防会が発行する機関誌「複十字」356号（平成26年5月発行）に書かせていただいた「はひふへほんものホスピタルのまち清瀬」は、「俳句・波郷・林」「悲田処・火祭り・ひまわり」「ふせぎ・複十字・福祉・フロッジャク・文室秋津」「蛇（医療医学のシンボル）・平和」「ホスピス」など、「は行の頭文字」で清瀬の誇りある個性、都市格を表現できます。

だから縁起の良い「はちあわせ」が生まれたのかもしれないですね。

渋谷市長 渋谷 金太郎

## まちかどニュース

身近なイベントや、まちかどの話題を皆さんから募集しています。

### ニンニンくんが東京ドームのイベントに出場



イベントに出場したニンニンくん

5月16日、東京ドーム（文京区後楽一丁目）で行われた、プロ野球の試合前のオープニングイベント「TOKYOデー」に、清瀬市公認キャラクターのニンニンくんが出演しました。

当日は、東京都のゆるキャラ33組による駆け足対決や、マスコットガールと一緒にダンスを披露するなどして会場を盛り上げました。

### まちづくりフォーラムを行いました

5月23日、生涯学習センターで「第12回まちづくりフォーラム」が開催されました。

当日は平成26年度の活動報告の発表を行い、参加いただいた市民の皆さんから市民提案の回答や市長提言などについての質問、意見をいただきました。



まちづくりフォーラムでの様子

### 優れた技術者などを推薦してください

①技能功労者表彰  
表彰の基準 多年にわたり同一の職業に従事し、その功労が顕著と認められ、次のいずれにも該当する方。  
⑦5年以上継続して市内に居住している方⑧30年以上にわたり技術者としての経験を有する60歳以上の方⑨優れた技能を持ち後進の模範となっている方  
対象となる職種 石工、タイル工、造園・植木職、大工、左官職、建具職、表具経師、畳職、塗装工、配管工、桶職、和・洋裁師、理容師、美容師、板金工、調理師、製菓技術職、豆腐製造職、電気工事士、時計修理士、写真師、下駄職、製靴職、印刻師、クリーニング師、はり・きゆう・あんま・マッサージ・指圧師、農業従事者など

②市民表彰  
表彰の基準 市民または市に関係のある個人・団体で、市の公益に関して特に功労顕著と認められ、その行為が20年以上継続している方  
推薦方法 6月30日までに下記各係にある推薦書に必要事項を記入し、直接①は産業振興課産業振興係 ☎497・2052 ②は秘書広報課秘書係 ☎497・1807へ（いずれも自己推薦は不可）

### 小学生部門

## 清瀬 こども俳句

市内小・中学生の俳句を紹介します。ぜひご応募ください。  
選評 石田波郷俳句大会実行委員会

● ひらひらと白い帽子が夏空へ  
（評）帽子が飛んでいくイメージも素晴らしいし、それが白い帽子であることで、夏の空の濃い青さ、光の強さも読むものに伝わってきます。季節を最後にしたのも効果的。  
土屋 凜太郎

● 赤いバラころをうばう天才だ  
（評）夏の季語のバラにはさまざまな色があるけれど、僕は赤い色のバラに心を奪われてしまう。なぜか、理由は分からない。きっと赤いバラが心を奪う天才だからだろう、と。  
蓬田 ゆうな

● ぶらんこをこいでいるとかせがふく  
（評）俳句にはいろいろな約束がありますが、「フロン」は夏の季語になっていきます。フロンをこぐ気持ち良さを独特の言葉で表現してくれました。そうなんだね！  
下地 尚太

● まつりの日心臓にひびく大だいこ  
（評）この「祭り」も俳句では夏の季語。祭りの日はおとんでも心が浮き立ちますが、子どもたちは心臓がどきどきするほどのワクワク感。それが祭り太鼓の音と響き合いました。  
※今回の俳句は、七小で行った「出前俳句教室」からの選句です。

### 投稿募集中 あなたも市報に参加しませんか

①がんばりすと②まちかどニュース③清瀬こども俳句  
応募方法 ①②は掲載希望号の1か月前（必着）までに、写真（データが望ましい）に説明を添えて、住所・氏名・電話番号を記入し、郵送・持参・メールで秘書広報課へ、③は小・中学生対象で、はがきに俳句・住所・氏名・年齢・学校名・学年・電話番号を記入し、郵送または直接〒204-0021元町1-2-11生涯学習スポーツ課へ（随時受け付け）  
問合せ ①②＝秘書広報課広報広聴係 ☎497・1808、③＝生涯学習スポーツ課 ☎495・7001

日本年金機構の個人情報流出について、年金事務所や市から本人宛てに電話することはありません。  
年金事務所や市職員を名乗る電話にはご注意ください！